



翔け！ 多入高校

Vol 9

School Topics



■問い合わせ 佐賀県立多久高等学校 ☎75-3191

第12回卒業証書授与式



3月1日、卒業証書授与式が行われ、卒業生157人に小池雅文校長が卒業証書を授与しました。

式では、小池校長が「常に向上心を持ち、『自分の夢を形に、思い続ければ夢叶う』と信じて努力してください」とあいさつ。

在校生代表の送辞では、平間伸之さんが部活動や文化祭での思い出を振り返りながら「限界を超えて挑み続ける『負けじ魂』を学びました。つらい時は多久高での日々を思い出してください」とエールを送りました。

各クラスでの最後のホームルーム



▶ 恩師と生徒みんなで集合写真（2組）

式典後、卒業生と保護者は各クラスに場所を移し、最後のホームルームに出席。卒業生一人ひとりにから恩師や保護者に対する感謝の気持ちを語り、学校生活最後の時間を共有しました。



▲卒業生を代表して答辞を述べる百崎裕介さん



▲恩師との別れを惜しみながら退場する卒業生



▲保護者へ18年間の感謝を伝える井手拓也さん（1組）



▶ 樋口義朗先生（3組）「夢を実現するためには、喜びの回数より悲しみの回数がはるかに多いです。めげずに夢、目標に向かって努力してください」



▶ 「心理カウンセラーを目指して進学します」と語った百崎裕介さん（1組）



▶ 生徒手作りの思い出を振り返るスライド上映（4組）

第10回総合学科発表会

生徒が自己のあり方や生き方を考え、主体的に進路を選択することを目的に開催されている総合学科発表会。

1年～3年生までそれぞれ「産業社会と人間」、「インターンシップ」、「探究」という枠組みの中で発表を行いました。



▲夢は警察官と語った古賀匠さん
「学習を通じて、興味ある分野以外の職業についても知ることができました。将来は人を助ける仕事に就きたいです」



▲FMからつでのインターンシップを経験した白水孝行さん
「ラジオへの生出演という貴重な体験もできました。仕事の大変さを学び、夢実現の第一歩となりました」

発表会の開会式では小池校長が「今回の発表会では調査、研究、モノづくりなど総合的な学習の時間を通じて得た一年間の学びを堂々と発表してください」とあいさつ。1年生は進学、就職までの進路など将来設計の発表、2年生はインターンシップに参加しての気づき、3年生は各系列の研究成果を発表しました。



▲動作する内容をプログラムに変換して順番に実行するシーケンス制御の実演



▲（左から）ストップモーションの制作に取り組んだ井手拓也さん、池田亮さん、満岡克弥さん



▲絵本の制作（左から）「カタカチ、平仮名の使い方に注意して作りました」と話す東郷遥さん、鳥越麻佑さん、柴田紗也加さん

市交際費の支出状況

▶平成25年度2月分

支出種別	区分	件数	金額（円）
弔 慰	今月分	1	5,000
	累計	38	141,600
見舞い	今月分	0	0
	累計	4	40,000
御 祝	今月分	1	3,255
	累計	44	222,335
賛 助	今月分	0	0
	累計	4	19,500
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接 遇	今月分	3	9,680
	累計	58	145,733
会 費	今月分	8	37,000
	累計	51	227,500
その他	今月分	0	0
	累計	2	6,510
合 計	今月分	3	54,935
	累計	201	803,178

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ 総務課 秘書係 ☎75-2115

1年生
「産業社会と人間」

2年生
「インターンシップ報告」

3年生
「探究」

（系列別発表）